

支え合っ いのちを守る

問 市 防災危機管理課(近江庁舎)
☎52-6630 FAX 52-6930

全国的に大規模災害が頻発しています。
8月には九州地方を襲った豪雨災害、9月には関東地方を直撃した台風15号、10月には台風19号により東日本に甚大な被害が出ました。
安全な地域社会をみんなでつくる。避難支援プラン「個別計画」を活用するなど地域ぐるみで防災への取り組みがなされています。

車いすの男性とともに公民館へ避難▶



逃げ遅れる人を出さないために — 岩脇自治会 —

この模様は伊吹山テレビ11月8日号でも放送します



▲近所の高齢者を避難所まで車で送る



▲テクノカレッジ米原へ避難

10月6日、岩脇自治会では自力で避難することが難しい人を支援する避難支援プラン「個別計画」を活用した防災訓練が実施されました。

岩脇自治会は、天野川沿岸に位置するため、大雨等による水害の危険性が高い地域です。毎年、避難準備・高齢者避難開始等の避難情報が発令され、平成24年9月の大雨では天野川が氾濫しました。

今回の訓練では、岩脇公民館に本部を置き、避難準備・高齢者等避難開始が発令されると、支援が必要なおよそ40人に対して安否確認や岩脇公民館への移送が行われました。警戒レベルが上がり避難勧告が発令されると、指定された広域避難所テクノカレッジ米原への避難が行われました。

地域ぐるみで支援が必要な人と支援する人のコミュニケーションが図られ、逃げ遅れを防ぐための体制が整えられています。

避難支援プラン「個別計画」って？

災害時に自力での避難が困難・危険と思われる人に対して、必要な支援の内容や支援をする人などを自治会が個別に定める計画です。市では、全自治会で作成できるようご協力をお願いしており、現在は29自治会で作成されています。

作成に関すること

問 市 暮らし支援課(山東庁舎)
☎55-8110 FAX 55-8130

避難支援プランを活用した 訓練を実施しましょう

避難支援プラン「個別計画」を作成したら、防災訓練で活用しましょう。防災訓練に取り入れることで、課題や改善点が見え、また、実際に災害が起こった際にはスムーズに行動できるようになります。

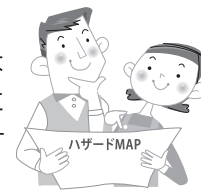
1. 知らせる

気象警報(情報)が発表されたら、速やかに避難行動ができるよう電話などで知らせましょう。



2. 安否を確認する

地震の場合は家具の下敷きになっていないかなどの確認を。事前に本人がどこにいるか、どこに避難するかを確認しておくことも大切です。



3. 助け合って避難する

避難情報(避難準備・高齢者等避難開始など)が発令された場合、近所の人などで協力して避難しましょう。

Topic

台風19号で福島県相馬市へ災害支援

市は、全国水源の里連絡協議会のメンバーとして災害時応援協定を結んでいる福島県相馬市へ、物資支援や給水活動支援のため、10月14日～11月20日の予定で職員を派遣しています。

